
令和8年度

安曇野市一般会計当初予算の概要



朝が好きになる街

安曇野

総務部 財政課

令和8年度 一般会計当初予算の概要

1 予算編成の基本方針

令和8年度は第2次安曇野市総合計画・後期基本計画が策定されてから4年目を迎え、安曇野市が目指す将来ビジョンである「自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野」の総仕上げに向け、これまでの進捗状況を十分に検証したうえで各施策を着実に進めると共に、地域の魅力や強みを生かすべく、重点的・組織横断的に取組む「価値創出プロジェクト」の着実な事業展開が必要である。

一方、令和8年度当初予算は、新たなインフレ局面に入ってきた中での予算編成となる。財政面においては、新たな事業に着手する中でも、財政の健全度を示す各種指標に大きな変動はなく健全財政を維持できているが、引き続き、市税収入や国・県の財政措置の的確な見極めが必要であり、激変する社会情勢を考慮すると、突如として厳しい財政運営を強いられることも想定しておかねばならない。

また、合併以来、有効に活用してきた「旧合併特例事業債」の発行期限が過ぎたことから、ハード事業の実施による将来負担の想定や分析など、今まで以上に慎重な財政運営が求められる。

物価高騰、人件費の上昇などにより経常経費の増加が想定されることから、事業の選択と集中はもとより、歳入歳出両面における財源確保の徹底した取組みが求められる。

これらを踏まえて、市民一人ひとりがここに住むことに幸せを感じ、市外在住の方には憧れを抱いていただけるまちづくりを進めるため、本方針に沿って取組みを進めるものとする。

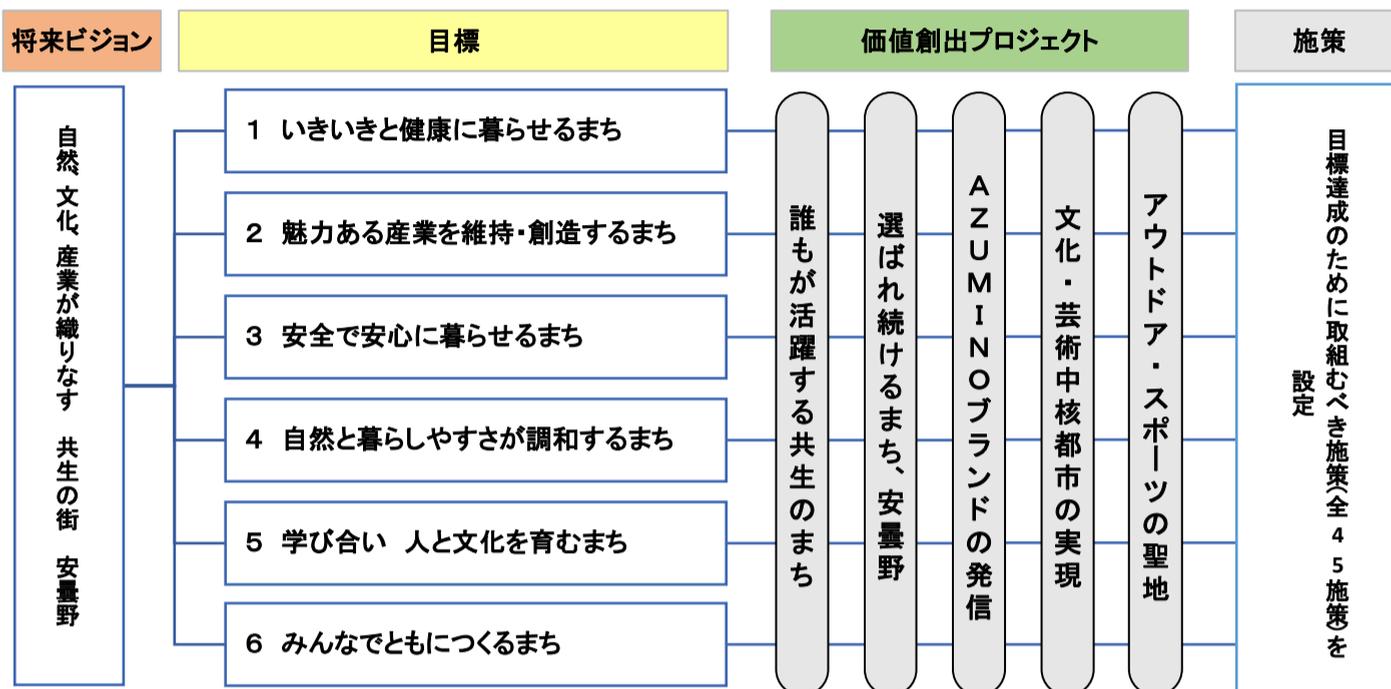
2 予算の総額

令和8年度当初予算額	481億8,000万円
令和7年度当初予算額	502億5,000万円
対前年度比	△20億7,000万円 (△4.1%)

3 令和8年度 重点事業

市では、総合計画に掲げた将来ビジョンの実現に向け、施策横断的に取り組むこととしている「価値創出プロジェクト」に紐づく事業、および地域課題の解決や市民サービスの向上のための主要な取組を令和8年度の重点事業として取組みます。

総合計画後期基本計画 施策体系（概略）



価値創出プロジェクトとは

総合計画後期基本計画に掲げた将来ビジョン達成のため、組織横断的に注力する施策で、以下の5つのテーマを「価値創出プロジェクト」として設定しています。

誰もが活躍する共生のまち

- 互いの違いを認め合い、様々な人が活躍することのできるまちを目指す
- 「誰一人取り残さない」という理念のもとプロジェクトを推進する

選ばれ続けるまち、安曇野

- 地方共通の課題である、人口減少、少子高齢化への対策を講じる
- 関連施策が多岐にわたるため、優先度の高い事項に財源と人的資源を集中投下

AZUMINOブランドの発信

- 各部門が有する安曇野の価値を「戦略をもって」国内外へ売り込む

文化・芸術中核都市の実現

- 安曇野が誇る歴史文化、芸術を生かし、文化・芸術の「拠点」を目指す

アウトドア・スポーツの聖地

- 豊かな自然環境を活用した各種スポーツを推進
- 多様なジャンルを組み合わせ発信、様々な層に安曇野の魅力を伝える

総合計画後期基本計画の目標ごとの主な実施計画事業（令和8年度）

※凡例： 価…価値創出プロジェクト該当事業／新…新規事業／拡…拡充事業

【将来ビジョン】

自然、文化、産業が織りなす 共生の街 安曇野

1 いきいきと健康に暮らせるまち

新	福祉医療費給付事業 （精神障がい者の入院扶助関係）	1,388万7千円	
新	堀金福祉センター改修事業 （長寿命化の大規模改修工事（R8～R11））	3億1,217万4千円	（R9～R10：3億2,753万7千円）
新	障がい者相談支援事業 （在宅レスパイト事業の新設）	360万円	
価	母子・子育て支援事業 （産後ケア事業、新生児検査費助成など）	1億681万3千円	
新	児童クラブ整備事業 （豊科南小、豊科北小、穂高南小の児童クラブ専用施設の設計、工事（R8～R9））	2億7,740万8千円	（R9：3億9,473万6千円）
新	豊科児童館整備事業 （高家児童館建替えに向けた各種調査、基本設計など）	1,959万8千円	
新	園庭芝生化事業 （公立認定こども園（アルプス・上川手・有明あおぞら・穂高）芝生化工事など）	2億654万3千円	（R8単年）（R9～R10：3億4,088万8千円）

2 魅力ある産業を維持・創造するまち

新	農業・農村計画事業 （農業遺産認定関係）	99万7千円	
価	農産物等販路拡大事業 （シンガポールでのプロモーション関係（市長によるトップセールス・PRを実施予定））	743万8千円	
価	有害鳥獣駆除対策事業 （有害鳥獣駆除業務、ニホンザル発信機装着業務、クマ緊急捕獲業務など）	5,493万9千円	
価 拡	里山再生計画推進事業 （地域おこし協力隊員活動経費、『さとぶろ。工房～夢スペース～』の管理運営補助など）	2,447万2千円	（前年：1,086万円）
価	林道長峰線改良事業 （林道長峰線の部分拡幅工事）	6,626万円	
拡	商業事業者支援事業 （空き店舗等活用促進事業補助金、商業系省エネ・ゼロカーボン推進事業補助金など）	3,503万円	（前年：2,130万円）
新	市道新設改良事業（産業団地関連） （産業団地の整備に係る道路改良）	8,264万円	
新	安曇野ブランド創出事業 （シルクのまちづくり市区町村協議会総会関係）	82万8千円	
価	観光プロモーション事業 （台湾教育旅行誘致によるインバウンドの推進など）	2,686万6千円	
価	登山道等整備事業 （登山口駐車場管理システム構築関係）	2,090万円	
価	東部アウトドア拠点整備事業 （前川カヌーコースの上流、中流部など工事、公園・拠点施設の基本設計など）	1億4,232万3千円	（R9～10：10億3,718万8千円）

3 安全で安心して暮らせるまち

新	災害対策事業 (牽引型トイレカーの導入)	584万3千円	
新	耐震性貯水槽新設・更新事業 (耐震性貯水槽(2カ所)の設置工事)	3,654万3千円	
	内水対策事業 (万水川下流域における内水被害軽減のための排水路整備)	1億1,985万円	

4 自然と暮らしやすさが調和するまち

新	地球温暖化対策事業 (市有施設の太陽光発電設備導入に向けた調査、無料給水スポット(swee)の設置)	1,055万9千円	
価	移住定住推進事業 (ふるさとワーキングホリデー、地域おこし協力隊員新規採用)	700万7千円	
新	空家等対策事業 (空家意向調査業務委託)	314万6千円	
拡	市道新設改良事業(松糸道路関連) (国道19号から(仮称)明科ICへのアクセス道路(市道)整備など)	5億3,855万3千円	(前年:6,750万円)
	公園施設長寿命化事業 (南部総合公園(テニスコート人工芝張替、四阿改築、ロゴオブジェ設置)、中萱駅前広場(トイレバリアフリー化)など)	2億4,148万4千円	
新	景観整備事業 (景観保全・開発事業の調和に関する調査、景観重要眺望点標識設置工事)	249万5千円	
新	公共交通事業 (山岳路線バス運行関係(三股線、一ノ沢線(仮・実証運行)))	744万9千円	
拡	中央公民館事業 (地区公民館建設補助金のメニューにLED化工事と省エネエアコン設置を追加)	1,249万6千円	
新	文化財保全事業 (古民家活用(調査、プラットホーム構築))	193万1千円	

5 学び合い 人と文化を育むまち

価	小説「安曇野」による地域振興事業 (小説「安曇野」パンフレット第2弾作成など)	183万9千円	
新	マウンテンバイクコース管理費 (全日本自転車競技選手権大会補助金)	1,331万3千円	
新	体育施設スマートロック導入事業 (体育施設(堀金地域の4施設)へのスマートロック機器の設置、システム利用など)	216万6千円	
新	芸術教育普及事業 (収蔵品データベース構築、望月桂展 図録作成)	301万3千円	
拡	豊科郷土博物館教育普及事業 (常設展示リニューアルなど)	1,014万1千円	(前年:480万1千円)

6 みんなでともにつくるまち

新	電算システム管理運営事業 (自治体向け生成AIや行政からの通知などを電子送付するサービスの導入)	491万7千円	
新	協働のまちづくり推進事業 (市民活動サポートセンター関係)	37万7千円	
新	区等地域力向上事業 (自治会スクールの実施)	583万円	
新	住民異動・証明発行デジタル手続推進事業 (コンビニ交付の証明書の種類(税証明など)の拡充など)	1,278万7千円	

令和8年度 総合計画後期基本計画に基づく主な事業

1 いきいきと健康に暮らせるまち

◆精神障がい者への医療費助成を拡大

令和8年4月診療分から精神障がい者への医療費助成の範囲を入院診療分まで拡大します。また、市独自の対応として所得制限は設けず助成します。

- ・福祉医療費給付事業（1,388万7千円）

◆医療的ケア児の家族支援の実施

日常的に介護が必要な医療的ケア児の家族への支援として訪問看護ステーション等に委託し、在宅の医療的ケア児と家族の健康維持、家族の休息時間の確保、介護負担の軽減するため、在宅等で一時預かりをしてもらうレスパイトケア事業を新たに創設し、令和8年4月から開始します。

- ・レスパイトケア事業（360万円）

◆こども誰でも通園制度を4月から開始

すべてのこどもの育ちを応援し、子育て家庭の多様なライフスタイルを支援するため、こども誰でも通園制度を令和8年4月から開始します。

保護者の就労状況にかかわらず、生後6ヶ月から3歳未満の未就園児が月10時間までの利用可能枠の中で、時間単位での利用が可能です。利用するには、事前の認定や面談が必要です。公立認定こども園1園と市内の私立保育園で実施予定です。

- ・市内私立保育園への負担金（594万円）

◆RSウイルス感染症ワクチンの定期接種化

妊婦が接種することで、新生児及び乳児の感染・重症化を防ぐことができるRSウイルス感染症ワクチンが予防接種法のA類に位置付けられたことにより、令和8年4月1日から自己負担なく接種を受けられるようになります。

- ・RSウイルス感染症ワクチン接種（1,493万円）

◆児童クラブ等の整備に着手

保護者の就労などの理由で、児童の放課後の居場所である児童クラブのニーズが大きく増加していることから、いくつかの小学校では施設のキャパシティが不足し、希望者が全員入所できない事象が発生しています。

希望する多くの児童の受入を目指し、施設のキャパシティを増やすため、豊科南小・豊科北小・穂高南小児童クラブ施設の新築・増築工事を行います。また、高家児童館の建替に向けた基本設計に着手します。

- ・ 豊科南小学校児童クラブ設計、工事 (1億1,097万8千円)
- ・ 豊科北小学校児童クラブ設計、工事 (5,545万2千円)
- ・ 穂高南小学校児童クラブ設計、工事 (1億1,097万8千円)
- ・ 高家児童館の改築に向けた基本設計等 (1,959万8千円)



豊科北小児童クラブの様子



現在の高家児童館

◆園庭芝生化を推進

公立認定こども園及び幼稚園の園庭を芝生化する事業を計画的に実施しています。

令和8年度は、4つの認定こども園（アルプス・上川手・有明あおぞら・穂高）で芝生化を推進します。

- ・ 園庭芝生化事業 (2億654万3千円)



写真は堀金認定こども園

2 魅力ある産業を維持・創造するまち

◆世界農業遺産認定への取り組み

国際連合食料農業機関（FAO）による世界農業遺産への登録認定に向けた取組として農業遺産登録検討準備会を設置し、令和10年度の申請に向けた情報収集や体制づくりを進めます。また、安曇野独自の伝統的な農林水産業と、それに密接に関わって育まれた文化、農業生物多様性などを紹介する安曇野の農業システムに関するパンフレットを作成します。

- ・世界農業遺産登録検討準備会（21万円）
- ・農業システム PR パンフレット作成（78万7千円）



拾ヶ堰と田園風景

◆海外（シンガポール）で安曇野の農産物をPR

令和5年から東南アジアのハブであるシンガポールで行っているプロモーションは、「The Japan Rail Fair」への出展を軸に、越境 EC[※]への安曇野市産品の出品、メディアへの情報発信などを展開してきました。

令和8年度は、安曇野の魅力と農産物などをトップセールスする予定です。

- ・シンガポール販路拡大事業（743万8千円）



※越境 EC とは

電子商取引(EC)において、国境を越えて取引を行うこと。海外の EC サイトで商品を購入して日本に取り寄せる、または、日本の EC サイトで海外の顧客向けに商品を販売することを言います。

◆東部アウトドア拠点整備の推進

明科地域で進めている東部アウトドア拠点整備に引き続き取り組みます。令和8年度は、前川カヌーコース整備として上流部にサーフウェーブ、人道橋の整備工事と拠点施設整備としてセンターハウスの基本設計等に取り組みます。

- ・東部アウトドア拠点整備事業（1億4,232万3千円）



前川カヌーコース
カヌーやラフティングも楽しめる



整備予定のサーフウェーブのイメージ
写真は、ドイツに設置されているもの



拠点施設と前川周辺整備のイメージ図

◆フィルムコミッション立ち上げに向けた取り組み

映画等のロケ誘致・支援による安曇野ブランドの情報発信と認知度向上を組織的に推進するため、フィルムコミッションの立ち上げに向けて、先進地への視察等を行います。

- ・フィルムコミッション推進事業（47万3千円）

3 安全で安心して暮らせるまち

◆災害対策の充実

災害対応車両の導入

災害時に備えて牽引型のトイレカー1台を導入します。このトイレカーは、水を使用しない簡易トイレを搭載したもので、同時に2名が使用可能です。平常時には、イベント等で展示し、市民に対する簡易トイレの普及啓発などで活用します。

- ・災害対応車両等導入 (584万3千円)



導入予定の牽引型トイレカーのイメージ



水を使用しない簡易トイレを搭載

物資集積拠点立ち上げ訓練の実施

災害時の円滑な支援物資の受入、避難所などへの配送を行うため、物流会社と協定を締結しており、令和7年度に協定に基づく支援物資集積拠点マニュアルを策定しました。令和8年度は、そのマニュアルに基づき物資集積拠点の立ち上げ訓練を実施します。

- ・物資集積拠点立ち上げ訓練 (116万6千円)

◆消防団詰所統廃合による新詰所の建築

計画的に進めている消防団詰所統廃合による統合詰所新築工事の設計を行います。今回は、穂高地域の等々力区と等々力町区、穂高町区を管轄する第9分団第1部と第3部の詰所を統合して新たに詰所を建築します。

- ・消防団詰所更新・統廃合事業 (344万3千円)

4 自然と暮らしやすさが調和するまち

◆ゼロカーボンの推進

住宅の地球温暖化対策を促進するため、普及が遅れる既存住宅への太陽光発電システムの補助額を増額します（75 千円/件→30 千円/kW：上限 200 千円）。また、再エネ利用の更なる促進を図るため、蓄電システムの補助額を増額します（75 千円/件→100 千円/件）。

このほか、公共施設等への太陽光発電設備の設置箇所の拡大、きのこの使用済み培地等からバイオマス燃料を製造し熱供給する事業では、温浴施設への熱供給を開始します。また、公用車への電気自動車の導入、市有施設の省エネルギー化に向けて、引き続き照明 LED 化に取り組みます。

- ・ 地域脱炭素化推進事業（9,045 万円）
- ・ 住宅用地球温暖化対策設備の補助（2,735 万円）
- ・ 公用車の電動化の推進（312 万 4 千円）
- ・ 公共施設の照明 LED 化（3 億 766 万円 7 千円）



◆松糸道路整備に伴う事業の推進

アクセス道路の整備

県が進める松本糸魚川連絡道路の安曇野市内新設区間「安曇野道路」が令和 4 年に事業化し、整備が進められています。令和 8 年度は、国道 19 号から（仮称）明科 IC へのアクセス道路（市道明科 4036 号線）の用地取得を進めるとともに一部工事に着手します。

- ・ 市道新設改良事業(松糸道路関連)（5 億 3,855 万 3 千円）



国道 19 号と市道明科 4036 号線の合流付近

◆合葬式墳墓（2号基）の建設

一つのお墓に多くの方の焼骨を共同で埋蔵する合葬式墳墓を穂高墓地公園に建設します。平成29年に完成した1基目の合葬式墳墓は、共同埋蔵室が受入可能数に達しているため、令和8年度は、新たに2基目の合葬式墳墓の建設に取り組みます。

- ・合葬墓造成事業（8,547万円）



穂高墓地公園設置されている合葬式墳墓



内部の様子

◆ふるさとワーキングホリデーの実施

将来の移住や関係人口創出のため、移住希望者と担い手が不足している事業者をつなぐ短期生活体験プログラム（7泊8日）事業を実施します。令和8年度は、農業をテーマに取り組み、農業者のもとでの就農体験や交流を通じ、移住後の生活を感じてもらい、実際の移住につなげます。また、市の就農支援策と連携することで伴走支援を行います。

- ・ふるさとワーキングホリデー（300万円）



令和7年度に県のモデル事業として
実施された農業体験

◆ユニバーサルデザイントイレ整備の推進

多様な利用者が安心して快適に利用できるように老朽化が進む豊科駅前公衆トイレと中萱駅前広場トイレをユニバーサルデザインのトイレに改修します。

- ・豊科駅前・中萱駅前トイレ改修（6,722万1千円）



改修が予定されている中萱駅前公園トイレ(左)と豊科駅前トイレ(右)

◆空家意向調査の実施

令和7年度に実施した空家実態調査の結果に基づき、新たに把握した空家所有者や把握済みの所有者を対象に、空家に関する意向調査を実施します。空家所有者が抱える課題、空家の活用策などの現状を把握するとともに、令和9年度に策定予定の「第3次空家等対策経計画」の基礎資料とします。

- ・空家意向調査（314万円6千円）

◆本庁舎に給水スポット（swee※）を設置

マイボトル専用の無料給水スポット「swee」を本庁舎に設置します。市民の脱プラや脱炭素への理解と意識の向上を図るとともに、熱中症クーリングシェルターにおける水分補給の飲料水としても活用します。

- ・給水スポット設置（55万9千円）

※sweeとは

信州大学が開発した浄水機能を持つ給水機のこと。地域固有のミネラル成分を活かしつつ、水道の古い配管から溶け出す鉛等の除去が可能で、よりおいしく安曇野の水を味わえる。



◆ロゴオブジェ「AZUMINO」の設置

安曇野ブランドの新たな発信ツールとして「AZUMINO」を立体的に表現したロゴオブジェを豊科南部総合公園に設置します。多くの人に注目される安曇野の新フォトスポットとして、認知度向上につなげます。

- ・ロゴオブジェ設置（565万4千円）



ロゴオブジェ設置イメージ図

5 学び合い 人と文化を育むまち

◆フリースクール等利用児童生徒の民間施設利用費の一部を助成

児童生徒の多様な学びを保障するため、県が認証するフリースクール等に通う児童生徒の施設利用に係る費用の一部を支援し、保護者負担の軽減を図ります。

- ・フリースクール利用児童生徒支援補助金（420万円）

◆小学校・中学校1人1台端末を更新

小学校と中学校の授業で活用されている情報端末（タブレット）や電子黒板を活用した授業は、一人一人の学びを支援するツールとして定着しています。今回は、導入から5年が経過したタブレットをすべて更新し、学習環境の更なる充実を図ります。

- ・小学校情報端末更新（3億360万円）
- ・中学校情報端末更新（1億6,093万円）



タブレットを活用した授業

◆中学校部活動の地域展開に向けた活動の推進

国が全国的に進めている部活動改革に伴い、長野県が示す令和8年度末までに休日の学校部活動の地域クラブ活動への移行を目指すとともに、平日の学校部活動の地域展開に向けた検討を進めます。地域展開に向けて、学校や地域クラブ関係者との調整や地域展開に伴う課題を把握する実証事業を行います。

- ・地域部活動推進事業（2,767万円）

◆学校給食費の保護者負担軽減

保護者が負担することになっている食材費（給食費）について、国が進める小学校給食費の抜本的負担軽減策（いわゆる給食無償化）を受け、国が定める基準額を超える部分を市が負担することで、小学校の給食費を無償化します。

また、中学校給食費については、保護者負担を軽減するため、令和5年度以降の値上がり分を令和8年度も市が負担します。

※小学校給食費＝完全無償化

国基準額（2億5,597万円）

市負担額（6,623万円）

※中学校給食費

保護者負担額（1億5,189万円）

市負担額（4,465万円）



◆子どもの権利条例に基づく啓発事業の取り組み

令和7年9月に「安曇野市子どもの権利に関する条例」が公布されました。条例で定められた市の子どもの権利の日（11月20日）に合わせて、条例の目的と基本理念をはじめ子ども・市・市民・議会のそれぞれの役割などへの理解を深めるため、講演会を開催します。また、子どもの権利に関するリーフレットを作成し、啓発を行います。

- ・啓発講演会の実施（60千円）
- ・子どもの権利リーフレット作成（100千円）

◆第118回日展安曇野展の開催

日展安曇野展が再び安曇野市美術館で5月2日～31日の日程で開催されます。安曇野市での開催は、令和4年に続き2回目になります。多彩な日展入賞作品が展示されます。

- ・日展安曇野展開催負担金（600万円）



令和4年の日展安曇野展の様子

◆洋画家である望月桂展を開催

明科地域出身の洋画家である望月桂氏（1886～1975）の作品展を開催します。望月氏は、大正デモクラシーの自由主義的な風潮の下、近代的な美術学校で学んだ画家の1人で、その作品は日本の現代美術へと通じると言われています。昨年、望月氏の遺族から市に多くの作品が寄託されたのを記念して、その業績を顕彰する企画展を開催します。

- ・望月桂展負担金（360万円）

◆地区公民館建設補助制度の拡充

これまで地区公民館の建設・修繕工事等に対する補助を実施してきましたが、区からの要望や2027年の蛍光灯の製造・輸入禁止、温暖化に伴うエアコンの需要増を踏まえ、地区公民館が行う照明のLED化・省エネエアコン設置工事を新たに補助対象として拡充し、地域の拠点である地区公民館設備の充実を図ります。

- ・地区公民館建設補助金（1,249万6千円）

◆信州やまなみ国スポ・全障スポ開催に向けた施設整備に着手

令和 10 年に長野県で開催される信州やまなみ国スポ・全障スポ大会。安曇野市で開催されるウェイトリフティング競技の会場となる穂高総合体育館の改修を行います。メイン会場となる体育館アリーナ床補強工事のほか、選手控室などで使用する柔剣道場、卓球室への空調設置工事も実施します。

- ・国民スポーツ大会実施運営事業費（7,207 万 5 千円）



主会場となるアリーナ

◆全日本自転車競技選手権大会が市マウンテンバイクコースで開催

全日本自転車競技選手権大会が市マウンテンバイクコースで開催されます。大会は、7月18日～20日まで開催され、国内トップ選手をはじめとする300人以上の選手が全国から集結します。この大会を契機に新たな大会の誘致、利用者の獲得につなげ、アウトドアスポーツの聖地を目指す市の魅力を発信します。

- ・全日本自転車競技選手権大会実行委員会補助金（1,331 万 3 千円）



北アルプスを間近に感じながら、自然の中を駆け巡るコース

◆体育施設のスマートロックを導入

体育施設を利用する際の鍵の貸出、返却を簡略化するため、スマートロックシステムを導入します。事前登録した団体が各施設にあるキーボックスに暗証番号を入力し、鍵を取り出し、返却します。堀金地域の4つの体育施設で先行導入し、市民の利便性の向上を図ります。

- ・体育施設スマートロック導入事業（216 万 6 千円）

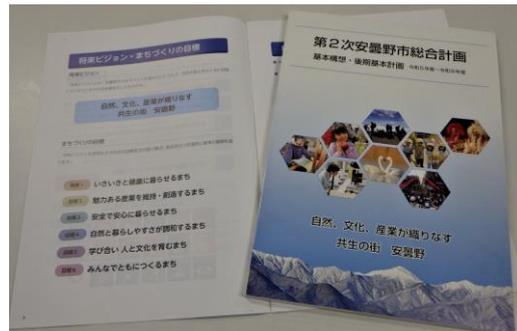
6 みんなでとものつくるまち

◆第3次総合計画の策定に向けた取り組み

市政運営の基本計画となる第3次総合計画の策定に向けて取り組みを進めます。計画期間が令和9年までの第2次総合計画では、将来ビジョンに「自然、文化、産業が織りなす共生の街 安曇野」を掲げ、その実現のために様々な施策や事業を展開しています。

令和8年度は、計画期間を令和10年から20年までとする第3次総合計画と令和14年までの前期基本計画を策定するため、アンケート調査の実施や総合計画審議会を開催します。

- ・総合計画等策定事業（352万7千円）



第2次総合計画後期基本計画

◆DXを活用した利便性の向上

書かない窓口・デジタル窓口の拡充

書かない窓口の拡充推進のため、本人確認書類（マイナンバーカード）読取システムの導入を進めます。本庁では4台を追加、支所に各1台を新規導入し、来庁者の窓口での待ち時間の短縮と事務負担の軽減を推進します。

コンビニ交付では、新たに税証明と住民票記載事項証明の取得を可能にし、利便性の向上と窓口の混雑緩和に取り組みます。

- ・住民異動・証明発行デジタル手続推進事業
(1,278万7千円)



市役所本庁舎1階にあるコンビニ交付機

マイナンバーカードオンライン窓口の設置

マイナンバーカードの申請・交付事務等を円滑に行うため、コールセンターとオンライン窓口を本庁舎と穂高支所に新規設置します。

- ・マイナンバーカード交付促進事業（1,980万円）

◆市民活動サポートセンターを堀金支所 1 階に移設

市民活動サポートセンターは、市民活動に関する情報発信や相談、交流の場づくりを通じて、「ヒト・モノ・コト」をつなぎ、市民活動を支える拠点です。

令和 8 年 4 月 1 日から市民活動サポートセンターの窓口を本庁舎から堀金支所に移設し、相談窓口、情報コーナー、市民活動団体等が打ち合わせ等に利用できるフリースペースを一体化して利便性を高めることで、市民活動支援の充実と機能強化を図ります。

- ・市民活動サポートセンター関連費用（37 万 7 千円）



市民活動サポートセンターが入る堀金支所1階の市民活動室

◆地域力向上に向けた取り組み

国の地域力創造アドバイザー制度を活用し、外部専門家による自治会スクール（仮称）を実施します。自治会の担い手不足解消に向けて、現役の役員や自治会の活動に興味のある人などを対象にワークショップなどを行い、これからの地域のあり方・未来像とともに考えることで、地域活動を「自分事」として捉え、主体的に関わる意欲を高め、地域力の向上を目指します。また、区役員に対するイメージを「負担」から「やりがい・楽しさ・自ら関わりたいもの」へと変える契機とします。

- ・地域コミュニティ活動支援事業（583 万円）

歳入・歳出予算の概要

1 歳入

区分	令和8年度	令和7年度	対前年度増減額	増減率%
市税	127億1,051万2千円	122億2,337万3千円	4億8,713万9千円	4.0%
	主な計上額		計上額	前年比
			51億4,700万円	3億3,200万円
			7億8,500万円	5,000万円
			56億8,300万円	1億1,700万円
			3億8,600万円	720万円
			5億6,500万円	0円
			5,500万円	15万円
地方譲与税	4億9,623万8千円	5億3,918万9千円	△4,295万1千円	△8.0%
	主な計上額		計上額	前年比
			9,800万円	△1,900万円
			3億7,000万円	△2,100万円
			2,823万8千円	△295万1千円
地方消費税交付金	25億5,000万円	24億4,000万円	1億1,000万円	4.5%
	主な計上額		計上額	前年比
			24億4,000万円	4,000万円
環境性能割交付金	500万円	6,400万円	△5,900万円	△92.2%
	主な計上額		計上額	前年比
			6,400万円	600万円
地方特例交付金	2億100万円	1億1,500万円	8,600万円	74.8%
	主な計上額		計上額	前年比
			9,900万円	△1,600万円
			5,900万円	皆増
			2,400万円	皆増
			1,900万円	皆増
地方交付税	120億円	116億円	4億円	3.4%
	主な計上額		計上額	前年比
			113億円	3億4,000万円
			7億円	6,000万円
分担金及び負担金	3億2,305万1千円	2億9,979万8千円	2,325万3千円	7.8%
	主な計上額		計上額	前年比
			743万7千円	△43万8千円
			1億7,119万9千円	289万2千円
			3,800万円	△5万7千円
			162万円	皆増
			7,000万円	2,000万円
国庫支出金	58億5,383万4千円	58億2,888万3千円	2,495万1千円	0.4%
	主な計上額		計上額	前年比
			9億5,364万円	1,174万8千円
			5億5,739万1千円	5,930万円
			8,822万2千円	94万5千円
			14億8,495万5千円	628万7千円
			4億3,879万2千円	4,933万8千円
			891万円	皆増
			5,527万6千円	2,341万2千円
			1,662万4千円	△379万円
			2,482万1千円	△1億5,171万5千円
			4億9,982万7千円	皆増
			9,176万円	△271万7千円
			9,045万円	△1億4,122万2千円
			2億6,668万円	1,133万8千円
			5億3,145万2千円	△1,111万8千円
			1億3,257万8千円	△9,563万3千円

区分	令和8年度	令和7年度	対前年度増減額	増減率%
県支出金	33億1,934万3千円	27億7,197万5千円	5億4,736万8千円	19.7%
	主な計上額		計上額	前年比
	子どものための教育保育給付費負担金		2億1,939万6千円	2,466万9千円
	誰でも通園制度県負担金		148万5千円	皆増
	自立支援給付費負担金		4億7,682万円	587万4千円
	児童手当県費負担金		1億7,402万2千円	47万5千円
	保険基盤安定負担金		2億4,084万3千円	△736万3千円
	後期高齢者医療保険基盤安定負担金		2億7,004万9千円	2,771万2千円
	福祉医療給付事業補助金		2億7,564万円	223万1千円
	子ども子育て支援交付金		7,615万6千円	△208万6千円
	森林健全化推進事業補助金		7,052万1千円	60万5千円
	多面的機能支払推進交付金		2億1,926万4千円	212万円
	給食費負担軽減交付金		2億5,597万円	皆増
	県民税徴収事務委託金		1億6,000万円	200万円
	県知事選挙委託金		6,260万3千円	皆増
寄附金	3億10万円	3億円	10万円	0.0%
	主な計上額		計上額	前年比
	ふるさと寄附金		3億円	0円
繰入金	38億9,141万円	37億623万6千円	1億8,517万4千円	5.0%
	主な計上額		計上額	前年比
	財政調整基金繰入金		10億2,842万8千円	△1億646万9千円
	減債基金繰入金		8億円	△2億円
	公共施設整備基金繰入金		9億円	2億4,000万円
	地域振興基金繰入金		1億3,612万2千円	△3,972万5千円
	ふるさと寄附基金繰入金		8億円	2億円
	堀金観光開発基金繰入金		3,922万3千円	899万7千円
	福祉基金繰入金		900万円	△685万6千円
	安曇野市文化振興基金繰入金		1,880万3千円	339万5千円
	森林環境譲与税基金繰入金		2,712万9千円	172万円
市債 (うち借換債)	35億2,660万円	68億8,930万円	△33億6,270万円	△48.8%
	(7億2,350万円)	(13億9,440万円)	(△6億7,090万円)	
	主な計上額		計上額	前年比
	○過疎債(4億6,630万円)			
	明科地域づくり事業(過疎債)		220万円	20万円
	長峰山施設改修事業(過疎債)		620万円	△1,780万円
	林道長峰線改良事業(過疎債)		6,620万円	560万円
	自然体験交流センター事業(過疎債)		550万円	皆増
	観光イベント事業(過疎債)		1,000万円	皆増
	廃線敷維持点検管理事業(過疎債)		1,180万円	皆増
	過疎対策推進事業(過疎債)		1億1,350万円	△50万円
	松系アクセス道路事業(過疎債)		2億4,120万円	2億2,040万円
	明科駅前周辺整備事業(過疎債)		530万円	△1,970万円
	文化団体補助事業(過疎債)		440万円	0円
	○その他(23億3,680万円)			
	児童クラブ整備事業(こども債)		2億4,470万円	皆増
	園庭芝生化事業(こども債)		1億8,070万円	1,920万円
	児童館建設事業(こども債)		4,510万円	△1億1,820万円
	保育所施設整備事業(こども債)		2,200万円	△1億1,320万円
	公衆便所改修事業(ユニバーサルデザイン化)(公適債)		2,710万円	皆増
	福祉センター事業(公適債)		2億20万円	1億8,730万円
	道路整備事業(公共事業等債)		1億7,080万円	皆増
	障がい者支援センター改修事業(公適債)		1億6,560万円	5,320万円
	電動車導入事業(脱炭素債)		280万円	皆増
	防災基盤整備事業債(防対債)		2,420万円	2,060万円
	都市公園事業(公共事業等債)		5,790万円	皆増
	耐震性防火水槽整備事業(防対債)		1,640万円	皆増
	県営かんがい排水事業(公共事業等債)		2,030万円	370万円

県営ほ場整備事業	660万円	△40万円
学校施設改修事業	7,620万円	皆増
内水対策事業（緊自債）	1億1,940万円	△2,620万円
道路橋梁維持事業（緊自債）	7,000万円	1,000万円
除雪融雪事業（緊自債）	1,330万円	330万円
公営住宅建設事業債	2億5,440万円	△1億880万円
穂高会館非常用電源設備更新事業（緊防債）	4,200万円	皆増
体育施設耐震補強事業（緊防債）	5,630万円	皆増
人権集会所解体事業（公適債）	3,180万円	皆増
体育施設照明取替工事（脱炭素債）	2億3,070万円	1億7,580万円
情報教育推進事業（デジタル債）	2,660万円	皆増
○借換債（7億2,350万円）		
借換債（総務債・特例債）	1億8,210万円	皆増
借換債（商工債・旧合併特例事業債）	3億5,620万円	皆増
借換債（教育債・旧合併特例事業債）	1億8,520万円	△1億6,220万円

2 目的別歳出

区分	令和8年度	令和7年度	対前年度増減額	増減率%
議会費	2億7,156万8千円	2億6,182万3千円	974万5千円	3.7%
	主要な事業（主な内容） 議会費		計上額 2億7,156万8千円	前年比 974万5千円
区分	令和8年度	令和7年度	対前年度増減額	増減率%
総務費	52億7,316万8千円	53億1,658万8千円	△4,342万円	△0.8%
	主要な事業（主な内容）		計上額	前年比
	一般管理費		11億760万4千円	5,786万3千円
	本庁舎管理費		2億5,567万7千円	△618万3千円
	寄附採納事務		4億5,751万8千円	412万3千円
	職員管理総務費		10億2,812万4千円	8,205万1千円
	AED維持管理費		1,568万4千円	899万8千円
	総合計画等策定事業		352万7千円	335万2千円
	小説「安曇野」による地域振興事業		183万9千円	△127万7千円
	過疎対策推進事業		1,205万9千円	△64万3千円
	公共交通事業		1億8,581万5千円	1,259万5千円
	国際友好交流事業		200万円	162万5千円
	広報広聴事業		6,702万5千円	1,270万8千円
	電算システム管理運営事業		4億7,776万1千円	△8,257万5千円
	DX推進事業		1,564万1千円	147万8千円
	人権啓発費		1,816万円	△7万5千円
	区等地域力向上事業		1億3,269万9千円	831万4千円
	交通安全対策推進事業		1,378万9千円	△107万1千円
	水資源対策事業		4,567万4千円	1,517万7千円
	結婚応援事業		2,479万3千円	△585万4千円
	移住定住推進事業		4,639万円	△1,404万7千円
	住民異動・証明発行デジタル手続推進事業		1,278万7千円	皆増
	マイナンバーカード交付促進事業		4,865万9千円	2,476万6千円
	県知事選挙費		6,260万3千円	皆増
	県議会議員選挙費		989万2千円	皆増
	経済センサス		522万4千円	490万円
区分	令和8年度	令和7年度	対前年度増減額	増減率%
民生費	168億3,569万円	174億5,544万円	△6億1,975万円	△3.6%
	主要な事業（主な内容）		計上額	前年比
	自立支援給付事業		19億4,931万5千円	2,088万5千円
	障害児通所支援給付事業		5億3,336万円	2,267万6千円
	地域生活支援事業		6,264万円	△387万8千円
	障がい者相談支援事業		911万3千円	392万円
	障がい者支援センター改修事業		1億8,414万9千円	1,821万2千円
	社会福祉総務費		2億8,850万7千円	34万1千円
	福祉医療費給付事業		7億5,349万2千円	575万円
	子ども学習支援事業		1,132万円	100万円
	補聴器購入助成事業		150万円	0円
	生活保護費給付事業		6億6,522万1千円	5,178万9千円
	堀金福祉センター改修事業		3億1,217万4千円	2億9,012万3千円
	老人福祉総務費		1億5,146万円	△1,484万5千円
	介護保険特別会計繰出金		15億1,962万2千円	4,315万1千円
	国保会計繰出金		5億3,428万8千円	△1,947万8千円
	後期高齢者医療事業		16億5,681万4千円	8,766万円
	家庭児童相談事業		2,045万2千円	80万1千円
	児童手当給付事業		18億3,211万4千円	585万4千円
	児童扶養手当給付事業		2億6,284万7千円	87万7千円
	児童発達支援事業		2,162万6千円	67万4千円
	地域子育て支援拠点事業		190万円	40万円
	ファミリーサポート事業		1,232万円	13万2千円
	小規模公園整備事業		991万5千円	523万8千円
	豊科児童館整備事業		1,959万8千円	△1億8,452万2千円
	豊科南小児童クラブ整備事業		1億1,097万8千円	皆増
	豊科北小児童クラブ整備事業		5,545万2千円	皆増
	穂高南小児童クラブ整備事業		1億1,097万8千円	皆増
	児童館運営事業（民間委託事業）		4億2,682万円	2,963万5千円
	認定こども園LED化事業		2,412万9千円	皆増
	園庭芝生化事業		2億654万3千円	1,769万4千円
	公立認定こども園管理費		19億830万5千円	1億2,544万6千円
	公立認定こども園保育業務委託事業		1億1,108万7千円	△4万2千円
	公立認定こども園給食運営費		4億5,304万7千円	126万9千円
	子どものための教育・保育給付費		9億3,442万1千円	1億2,279万8千円

区分	令和8年度	令和7年度	対前年度増減額	増減率%	
衛生費	32億7,237万円	33億5,790万6千円	△8,553万6千円	△2.5%	
	主要な事業（主な内容）		計上額	前年比	
			環境基本計画推進事業	1,406万1千円	257万2千円
			地域脱炭素化推進事業	9,045万円	△1億4,122万2千円
			地球温暖化対策事業	3,869万2千円	1,044万8千円
			環境衛生総務費	2億6,588万6千円	△290万2千円
			公衆便所管理事業	3,160万7千円	2,837万9千円
			井戸利用者等支援金給付事業	344万7千円	皆増
			廃棄物収集運搬事業	3億9,084万6千円	1,696万4千円
			合葬墓造成事業	8,547万円	8,348万6千円
			穂高広域施設組合事業	3億5,164万4千円	160万8千円
			水道事業負担金	4億4,966万2千円	3億9,030万円
			空家等対策事業	6,587万7千円	△1,150万9千円
			予防接種事業	5億321万3千円	△1億1,975万1千円
			任意予防接種支援事業	2,118万4千円	△75万9千円
			不妊・不育症治療費助成事業	1,600万円	△320万円
			成人検診事業	8,310万1千円	173万3千円
			健康増進事業	2,303万8千円	159万1千円
			母子・子育て支援事業	1億681万3千円	△1,088万6千円
区分	令和8年度	令和7年度	対前年度増減額	増減率%	
労働費	6,312万5千円	6,183万4千円	129万1千円	2.1%	
	主要な事業（主な内容）		計上額	前年比	
			安曇野市勤労者互助会運営事業	510万円	85万円
			勤労者支援事業	5,280万円	0円
			ふるさとハローワーク管理事業	509万1千円	44万1千円
区分	令和8年度	令和7年度	対前年度増減額	増減率%	
農林水産業費	18億1,932万7千円	21億893万2千円	△2億8,960万5千円	△13.7%	
	主要な事業（主な内容）		計上額	前年比	
			農業総務費	1億4,416万5千円	△251万5千円
			農業・農村計画事業	1,285万3千円	△181万4千円
			環境保全型農業推進支援事業	436万5千円	46万4千円
			市農業振興作物等推進事業	6,688万1千円	57万7千円
			畜産農家支援事業	3,089万8千円	2,518万円
			農産物等販路拡大事業	2,353万6千円	△289万7千円
			農産物直売所・加工所等運営事業	3,389万7千円	987万1千円
			安曇野の里改修事業	2,235万7千円	1,291万円
			担い手・集落支援事業	4,470万6千円	59万3千円
			農村公園施設更新事業	136万7千円	皆増
			農地保全活動交付金（多面的機能支払）	2億9,301万2千円	282万7千円
			農業施設維持工事（市単）	4,939万円	△408万5千円
			農業用排水路工事・農道舗装工事（団体営）	2,856万円	△904万1千円
			ほ場整備負担金（経営体育成基盤整備）	1,511万6千円	△87万7千円
			有害鳥獣駆除対策事業	5,493万9千円	△611万8千円
			松くい虫防除対策事業	1億4,575万2千円	44万3千円
			里山再生計画推進事業	2,447万2千円	1,361万2千円
			森林造成事業（補助）	2,129万9千円	△16万円
			市有林森林整備事業	2,130万8千円	251万5千円
			林道重点整備・維持管理事業	5,538万3千円	162万6千円
			林道長峰線改良事業	6,626万円	560万4千円
			長峰山森林体験交流センター事業	2,734万6千円	229万4千円
			農業委員会事業	9,291万9千円	630万9千円

区分	令和8年度	令和7年度	対前年度増減額	増減率%
商工費	24億5,269万1千円	27億4,049万3千円	△2億8,780万2千円	△10.5%
	主要な事業（主な内容）		計上額	前年比
	地域総合振興事業		4,540万円	0円
	駅関連施設管理事業		2,348万3千円	△8万8千円
	商業事業者支援事業		3,503万円	1,373万円
	商工総務費		2億5,389万8千円	△283万2千円
	制度資金貸付事業		14億6,341万7千円	△1億1,167万4千円
	しごと創出事業		601万8千円	△1,458万7千円
	企業サポート事業（工業系）		851万3千円	△170万3千円
	企業助成事業		2億3,565万1千円	3,291万7千円
	ハーフマラソン事業		4,018万1千円	△382万6千円
	安曇野ブランド創出事業		275万6千円	△179万4千円
	来訪者受入環境整備事業		1,012万7千円	△546万1千円
	観光推進組織支援等事業		8,400万円	△1,075万円
	観光プロモーション事業		2,686万6千円	△1,002万7千円
	フィルムコミッション推進事業		47万3千円	皆増
	登山道等整備事業		4,306万1千円	△3,254万3千円
	廃線敷施設維持点検管理事業		1,744万3千円	865万1千円
	観光施設公園管理事業		5,819万1千円	△242万8千円
区分	令和8年度	令和7年度	対前年度増減額	増減率%
土木費	53億946万9千円	61億7,370万7千円	△8億6,423万8千円	△14.0%
	主要な事業（主な内容）		計上額	前年比
	市道新設改良事業（松糸道路関連）		5億3,855万3千円	4億7,105万3千円
	市道新設改良事業（産業団地関連）		8,264万円	皆増
	内水対策事業		1億1,985万円	△2,580万円
	市道新設改良事業（市単独）		2億8,481万円	2,791万円
	市道新設改良事業（交付金）		4億2,300万円	△9,790万円
	県営新設改良事業負担金		8,850万円	△4億1,500万円
	河川改修事業		2,660万円	△3,530万円
	道路維持作業車整備事業		197万6千円	6万円
	道路橋梁維持事業		4億234万3千円	4,369万4千円
	道路橋梁修繕事業（交付金）		1億4,910万円	△1億1,335万円
	除雪融雪事業		1億7,032万円	△42万8千円
	交通安全施設整備事業		4,117万5千円	1,000万円
	河川維持事業		1,866万5千円	90万7千円
	都市計画総務費		1億6,140万8千円	△7,962万5千円
	土地利用制度		137万円	51万8千円
	景観整備事業		348万9千円	△715万4千円
	都市再生整備計画事業（明科駅周辺）		533万5千円	△2,038万3千円
	公園施設長寿命化事業		2億4,148万4千円	△1,896万2千円
	豊科南部総合公園管理運営事業		7,754万2千円	△33万3千円
	東部アウトドア拠点整備事業		1億4,232万3千円	310万2千円
	住宅・建築物耐震改修促進事業		5,438万3千円	566万9千円
	公営住宅整備事業		3億6,828万8千円	△2億7,311万円
	公営住宅等長寿命化事業		7,788万8千円	1,523万6千円
	下水道事業繰出金		13億3,248万2千円	725万5千円
区分	令和8年度	令和7年度	対前年度増減額	増減率%
消防費	16億5,238万9千円	16億9,574万4千円	△4,335万5千円	△2.6%
	主要な事業（主な内容）		計上額	前年比
	常備消防負担金事業		11億9,698万5千円	1億2,538万7千円
	非常備消防運営事業		1億4,817万3千円	△1,350万4千円
	消防団車両更新事業		3,243万4千円	3,237万2千円
	消防団詰所更新・統廃合事業		469万5千円	△3,937万8千円
	耐震性貯水槽新設・更新事業		3,654万3千円	3,476万4千円
	災害対策事業		2,605万6千円	564万円
	防災組織支援事業		550万2千円	0円
	防災啓発事業		1,092万5千円	191万4千円

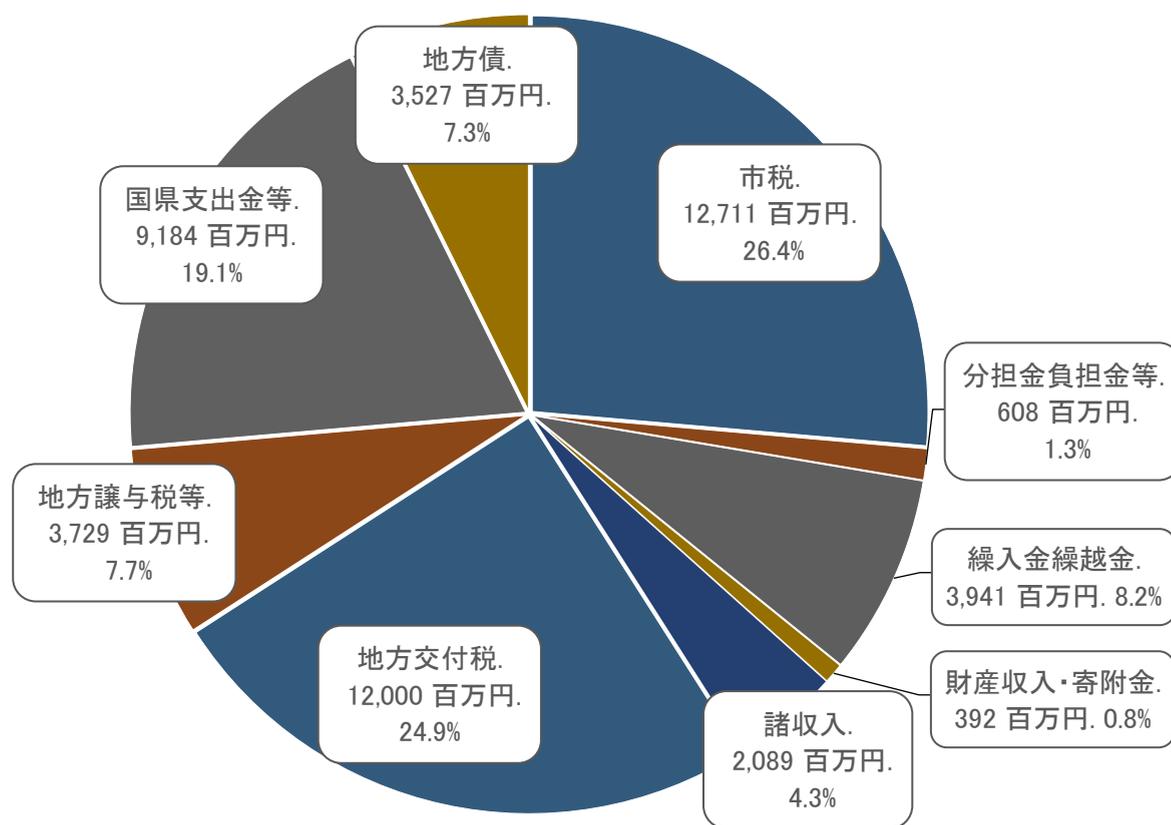
区分	令和8年度	令和7年度	対前年度増減額	増減率%	
教育費	58億6,708万2千円	50億9,292万円	7億7,416万2千円	15.2%	
	主要な事業（主な内容）		計上額	前年比	
			キャリアフェスティバル推進事業	540万4千円	18万1千円
			学校支援員配置事業	2億6,231万4千円	1,466万9千円
			外国語指導助手配置事業	6,001万9千円	△17万5千円
			事務局費総務	2億2,274万4千円	1,151万3千円
			教育支援センター運営事業	2,824万9千円	210万9千円
			スクールバス運行事業	1億3,843万4千円	1,003万5千円
			豊科東小学校施設改修事業	2,692万4千円	皆増
			穂高北小学校施設改修事業	5,308万円	皆増
			学校システム管理事業	1億281万5千円	3,287万7千円
			コミュニティスクール事業	449万3千円	△82万円
			小学校情報教育推進事業	3億7,712万3千円	3億243万6千円
			中学校情報教育推進事業	2億634万9千円	1億4,243万5千円
			地域部活動推進事業	2,767万円	1,767万3千円
			小学校施設維持修繕事業	3億2,528万1千円	2億7,278万9千円
			中央公民館事業	4,695万9千円	△3,198万7千円
			穂高会館消防設備等更新事業	1億6,757万2千円	皆増
			芸術教育普及事業	1,489万6千円	33万9千円
			文化団体補助事業	3,336万3千円	385万6千円
			市誌編さん事業	2,305万4千円	1,056万5千円
			安曇野市文化振興基金積立	1,400万円	0円
			文化財保全事業	812万2千円	△530万4千円
			図書館資料収集事業	2,780万5千円	△29万7千円
			給食センター総務費	8億4,263万6千円	5,894万1千円
			社会体育施設管理費	1億1,851万3千円	△865万7千円
			国民スポーツ大会実施運営事業費	7,207万5千円	6,395万3千円
			マウンテンバイクコース管理費	3,909万2千円	1,481万8千円
			体育施設LED化事業	2億5,654万6千円	1億9,307万7千円
			体育施設スマートロック導入事業	216万6千円	皆増
			黒沢洞合自然公園整備事業	324万5千円	△1億9,625万7千円
区分	令和8年度	令和7年度	対前年度増減額	増減率%	
災害復旧費	150万円	300万7千円	△150万7千円	△50.1%	
	主要な事業（主な内容）		計上額	前年比	
			災害復旧事業	150万円	0円
区分	令和8年度	令和7年度	対前年度増減額	増減率%	
公債費	53億1,162万1千円	59億3,160万6千円	△6億1,998万5千円	△10.5%	
	主要な事業（主な内容）		計上額	前年比	
			長期借入金償還元金	50億5,402万円	△7億3,826万8千円
			（上記のうち、地方債借換分 7億2,350万円）		
			長期借入金償還利子	2億5,700万1千円	1億1,918万3千円

歳入

(単位：千円・%)

款	歳入項目	令和8年度	令和7年度	増減	増減率
01	市税	12,710,512	12,223,373	487,139	4.0
02	地方譲与税	496,238	539,189	△ 42,951	△ 8.0
03	利子割交付金	9,000	6,000	3,000	50.0
04	配当割交付金	80,000	59,000	21,000	35.6
05	株式等譲渡所得割交付金	118,000	104,000	14,000	13.5
06	法人事業税交付金	235,000	217,000	18,000	8.3
07	地方消費税交付金	2,550,000	2,440,000	110,000	4.5
08	ゴルフ場利用税交付金	35,000	34,000	1,000	2.9
09	環境性能割交付金	5,000	64,000	△ 59,000	△ 92.2
10	地方特例交付金	201,000	115,000	86,000	74.8
11	地方交付税	12,000,000	11,600,000	400,000	3.4
12	交通安全対策特別交付金	10,720	11,900	△ 1,180	△ 9.9
13	分担金及び負担金	323,051	299,798	23,253	7.8
14	使用料及び手数料	284,658	291,624	△ 6,966	△ 2.4
15	国庫支出金	5,853,834	5,828,883	24,951	0.4
16	県支出金	3,319,343	2,771,975	547,368	19.7
17	財産収入	91,416	51,385	40,031	77.9
18	寄附金	300,100	300,000	100	0.0
19	繰入金	3,891,410	3,706,236	185,174	5.0
20	繰越金	50,000	50,000	0	0.0
21	諸収入	2,089,118	2,647,337	△ 558,219	△ 21.1
22	市債	3,526,600	6,889,300	△ 3,362,700	△ 48.8
	計	48,180,000	50,250,000	△ 2,070,000	△ 4.1

歳入目的別内訳



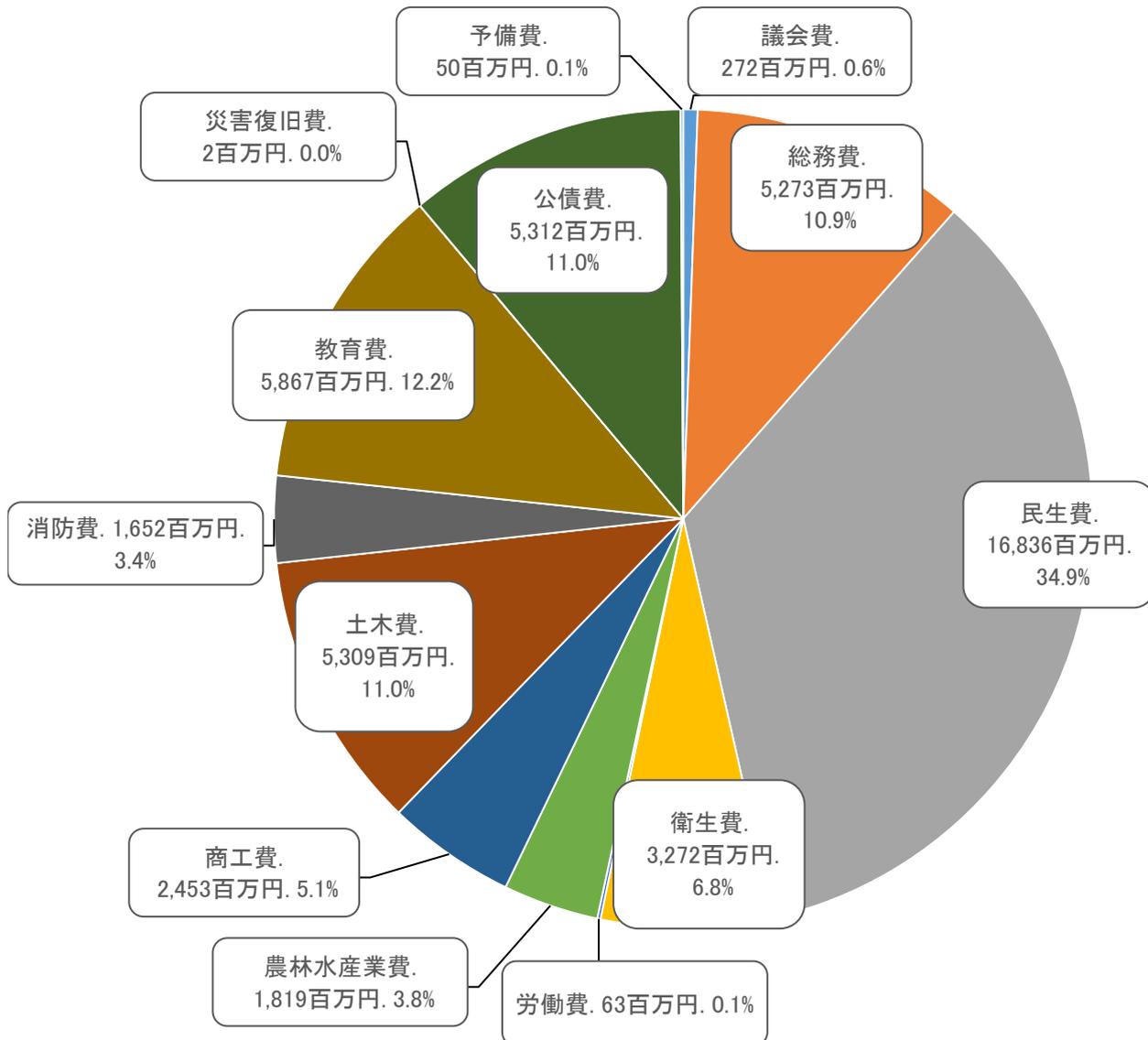
※百万円未満四捨五入により、構成比の合計が100%とならない場合があります。
 ※百万円未満四捨五入により、金額の合計が一致しない場合があります。

歳出（目的別）

（単位：千円・％）

款	歳出項目	令和8年度	令和7年度	増減	増減率
01	議会費	271,568	261,823	9,745	3.7
02	総務費	5,273,168	5,316,588	△ 43,420	△ 0.8
03	民生費	16,835,690	17,455,440	△ 619,750	△ 3.6
04	衛生費	3,272,370	3,357,906	△ 85,536	△ 2.5
05	労働費	63,125	61,834	1,291	2.1
06	農林水産業費	1,819,327	2,108,932	△ 289,605	△ 13.7
07	商工費	2,452,691	2,740,493	△ 287,802	△ 10.5
08	土木費	5,309,469	6,173,707	△ 864,238	△ 14.0
09	消防費	1,652,389	1,695,744	△ 43,355	△ 2.6
10	教育費	5,867,082	5,092,920	774,162	15.2
11	災害復旧費	1,500	3,007	△ 1,507	△ 50.1
12	公債費	5,311,621	5,931,606	△ 619,985	△ 10.5
13	予備費	50,000	50,000	0	0.0
	計	48,180,000	50,250,000	△ 2,070,000	△ 4.1

歳出目的別内訳



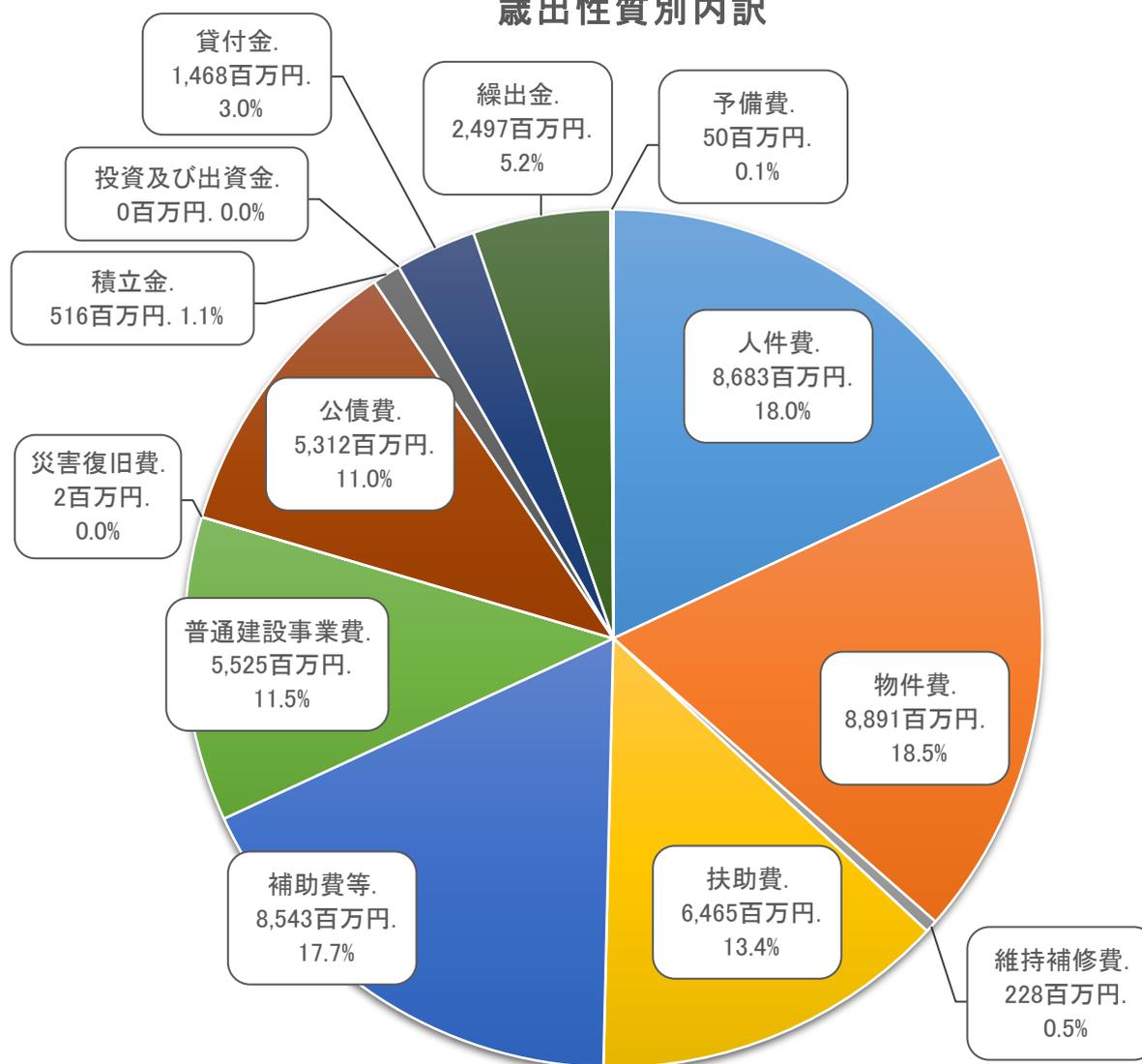
※百万円未満四捨五入により、構成比の合計が100%とならない場合があります。
 ※百万円未満四捨五入により、金額の合計が一致しない場合があります。

歳出（性質別）

（単位：千円・％）

性質	令和8年度	令和7年度	増減	増減率
人件費	8,683,375	8,438,172	245,203	2.9
物件費	8,891,029	8,703,669	187,360	2.2
維持補修費	227,615	213,177	14,438	6.8
扶助費	6,465,339	6,376,138	89,201	1.4
補助費等	8,543,206	7,910,906	632,300	8.0
普通建設事業費	5,525,390	7,971,541	△ 2,446,151	△ 30.7
災害復旧費	1,500	3,007	△ 1,507	△ 50.1
公債費	5,311,621	5,931,606	△ 619,985	△ 10.5
積立金	515,658	476,350	39,308	8.3
投資及び出資金	0	166,500	△ 166,500	△ 100.0
貸付金	1,468,104	1,570,140	△ 102,036	△ 6.5
繰出金	2,497,163	2,438,794	58,369	2.4
予備費	50,000	50,000	0	0.0
計	48,180,000	50,250,000	△ 2,070,000	△ 4.1

歳出性質別内訳



※百万円未満四捨五入により、構成比の合計が100%とならない場合があります。
 ※百万円未満四捨五入により、金額の合計が一致しない場合があります。

4 債務負担行為

(単位：千円)

事 項	期 間	限 度 額
議会会議録調製等業務	令和9年度まで	9,611
安曇野市議会だより印刷	令和9年度まで	5,703
大型バスリース	令和9年度から令和13年度まで	57,000
情報系パソコン賃貸借	令和9年度から令和13年度まで	161,586
情報系業務システムソフトウェア使用	令和9年度から令和13年度まで	98,168
情報系業務システム保守委託	令和9年度から令和13年度まで	68,570
クラムザッハ青少年派遣事業	令和9年度まで	10,751
確定申告・個人住民税申告受付及び申告資料データ処理業務委託	令和9年度まで	7,821
本人確認書類裏面印字システムリース	令和9年度から令和13年度まで	7,218
申請補助用タブレット賃貸借	令和9年度から令和11年度まで	1,278
堀金総合福祉センター改修工事	令和9年度から令和11年度まで	486,823
豊科南小学校児童クラブ整備事業	令和9年度まで	156,996
豊科北小学校児童クラブ整備事業	令和9年度まで	80,531
穂高南小学校児童クラブ整備事業	令和9年度まで	156,996
市立認定こども園保育業務支援システム運用保守業務委託	令和9年度まで	5,346
健康管理システム保守業務委託	令和9年度から令和12年度まで	28,204
第3次環境基本計画策定業務	令和9年度まで	4,092
災害時出動用携帯電話料	令和9年度から令和10年度まで	302
センターハウス建築基本設計業務	令和9年度まで	9,800
公園実施設計業務	令和9年度まで	31,500
人道橋架替工事	令和9年度まで	66,000
前川カーブコース整備工事（上流部）	令和9年度まで	72,979
消防団車両更新事業	令和9年度まで	49,992
ICT支援業務委託	令和9年度から令和11年度まで	150,000
市立穂高幼稚園保育業務支援システム運用保守業務委託	令和9年度まで	297
図書館管理システム機器保守契約	令和9年度から令和13年度まで	20,188
第3次安曇野市スポーツ推進計画策定業務	令和9年度まで	2,915
第2次安曇野市自転車活用推進計画策定業務	令和9年度まで	3,630

令和8年度安曇野市各会計当初予算額一覧

(単位：千円・%)

会 計 名	令和8年度	令和7年度	比 較	対前年度 比率
安曇野市一般会計	48,180,000	50,250,000	△ 2,070,000	△ 4.1
安曇野市国民健康保険特別会計	9,427,843	9,391,481	36,362	0.4
安曇野市後期高齢者医療特別会計	1,958,897	1,704,684	254,213	14.9
安曇野市介護保険特別会計	10,391,498	10,230,754	160,744	1.6
安曇野市上川手山林財産区特別会計	2,003	1,831	172	9.4
安曇野市北の沢山林財産区特別会計	608	791	△ 183	△ 23.1
安曇野市有明山林財産区特別会計	830	774	56	7.2
安曇野市富士尾沢山林財産区特別会計	708	701	7	1.0
安曇野市穂高山林財産区特別会計	736	731	5	0.7
安曇野市産業団地造成事業特別会計	2,440	2,243	197	8.8
安曇野市有明荘特別会計	29,368	29,971	△ 603	△ 2.0
特別会計合計	21,814,931	21,363,961	450,970	2.1
総 計 (一般会計+特別会計)	69,994,931	71,613,961	△ 1,619,030	△ 2.3

会 計 名 等	令和8年度 当初予算	令和7年度 当初予算	比 較	対前年度 比率	
安曇野市水道事業会計	収益的収入	2,263,398	2,263,773	△ 375	△ 0.0
	収益的支出	2,096,653	2,073,159	23,494	1.1
	資本的収入	775,740	276,030	499,710	181.0
	資本的支出	2,058,986	1,998,654	60,332	3.0
安曇野市下水道事業会計	収益的収入	3,806,179	3,780,829	25,350	0.7
	収益的支出	3,741,622	3,761,931	△ 20,309	△ 0.5
	資本的収入	2,189,173	2,306,130	△ 116,957	△ 5.1
	資本的支出	3,389,731	3,376,673	13,058	0.4